

●平成26年度 庄原市のGDP及び構成比

単位：GDP(百万円)

市町名	合計	第1次産業		第2次産業				第3次産業					
		農林水産業		製造業		建設業		卸・小売業		サービス業		その他	
		GDP	構成比	GDP	構成比	GDP	構成比	GDP	構成比	GDP	構成比	GDP	構成比
庄原市	124,695	11,381	9.1%	15,723	12.6%	9,673	7.8%	6,715	5.4%	19,518	15.7%	61,685	49.5%

広島県の発表する「平成26年度広島県市町民経済計算」から抜粋しています。上記の表は、平成26年度中に各市町内で新たに創出された付加価値(GDP)を示しています。GDPは、その市町の経済規模を示す代表的な数値であり、市町民が1年間に稼いだお金の総額とも言えます。

上記の表によると、庄原市の平成26年度のGDPは約1,250億円であり、県内で13番目の数値です。GDPの内訳をみると、その他を除き、サービス業の占める割合が15.7%と最も高く、次いで製造業が12.6%となっています。庄原市には庄原工業団地があり、そこに立地する工場の生産が地域経済に大きな影響を与えていると考えられます。さらに、農林水産業のGDPが11,381百万円と2番手の広島市に倍近い差をつけています。県内の農林水産業者が創出するGDPの約15%を占めており、新鮮な農水産物が手に入りやすい環境にあることが分かります。